

慶 應 義 塾 大 学 試 験 問 題 (三 田)

平成 25 年 7 月 24 日 (水) 1 時限施行		学部	学科・専攻	年 組
担当者名	別所 俊一郎 君	学籍番号		
科目名	[経] 経済政策論 a	氏 名		

以下のすべてに答えなさい。 行数制限を守り、出題順に回答すること。

1. 以下の記述が適切かどうか判定しなさい。不適切なときには下線部をどのように修正すればよいか、理由とともに、解答用紙表面にそれぞれ3行以内で書きなさい (4 × 9 = 36 点)。

- (1) 所有権の明確化は外部性による非効率な資源配分の是正に有効な手段のひとつである。
- (2) 正の外部性がともなう財について、財の生産者に生産する権利がある（授権されている）とき、政府の介入のない競争均衡では社会的限界費用よりも社会的限界便益が小さくなる。
- (3) 有料高速道路は、料金所が設置されており、料金が徴収されるので、排除不可能な財と言える。
- (4) 所与の資源と技術のもとで生産可能な最大限の財の組み合わせを表す曲線をパレートフロンティアと呼ぶ。
- (5) 労働市場が完全であるとき、公共プロジェクトのために雇用した労働者に関する費用は、市場で成立している賃金率で計測してよい。
- (6) 価格の変化によって消費者の行動・効用が変化するとき、効用の変化を、変化前の価格ベクトルで評価したものを等価変分と呼ぶ。
- (7) 初期投資のみが必要で、その後便益が発生し続けるようなプロジェクトの評価では、割引率 (1+r の r) が低いほうが純割引現在価値は小さくなりやすい。
- (8) $u(\cdot)$ を効用関数とし、将来の消費 x が不確実であるとき、 $E[u(x)] = u(y)$ を満たす y のことを期待効用と呼ぶ。
- (9) 道路建設によってある種の野生動物が絶滅してしまうとき、それに対して、現在も将来も誰も何も感じないとすれば、その絶滅は費用便益分析に含める必要はない。

2. 社会厚生関数について以下の問いに答えなさい。 解答用紙裏面を使うこと (7 + 17 = 24 点)

- (1) Bergson-Samuelson 型の社会厚生関数とは、何を何に対応付ける関数か書きなさい (1行)。
- (2) 社会厚生関数を資源配分の変更の判断基準として用いることの問題点として考えられることは何か、説明しなさい (5行)。

3. ある財の消費を公共プロジェクトによって変化させるとき、他の財の波及効果をどこまで考慮すべきかについて、3財モデルを使った以下の問いに答えなさい。 解答用紙裏面を使うこと (6 × 5 + 10 = 40 点)

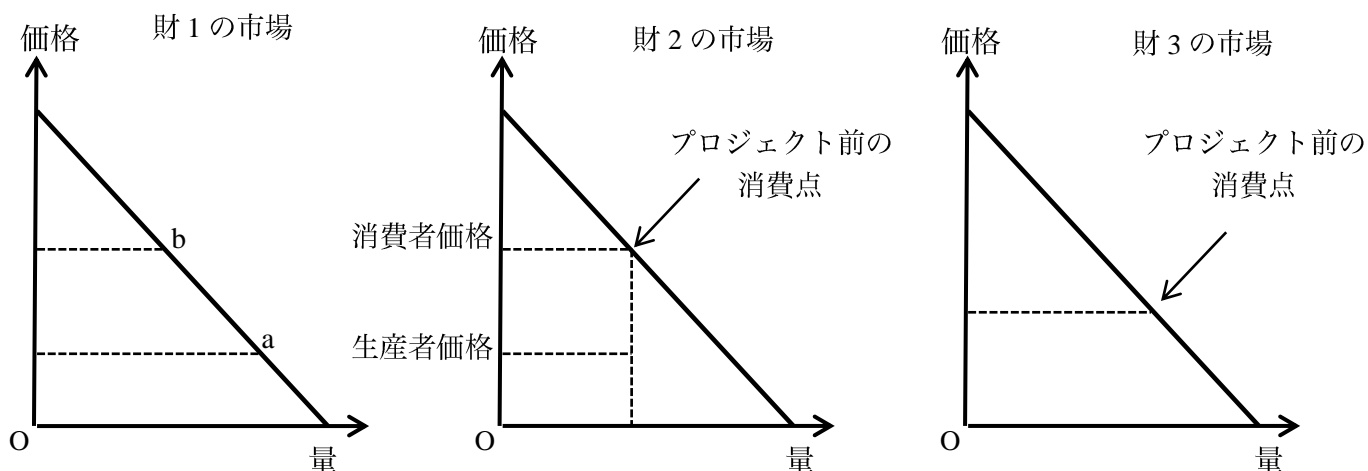
- (1) 財 1 のみがプロジェクトの直接の対象になっており、財 2 はプロジェクトの対象ではないが、税が課せられている。財 3 もプロジェクトの対象ではなく、その市場に税などの歪みはない。いま、プロジェクトによって財 1 の消費点が a から b に移動したとする。財 2 が財 1 の補完財であるとき、財 2 の需要曲線はどのようにシフトし、消費点はどこに移るか、図を描いて示しなさい (6点)。

持 込	持ち込み不可	試 験 時 間 60 分	答 案 別 紙 A4
			× モ 用 紙 要

慶 應 義 塾 大 学 試 験 問 題 (三 田)

平成 25 年 7 月 24 日 (水) 1 時限施行		学部	学科・専攻	年 組							
担当者名	別所 俊一郎 君	学籍番号	<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> </table>								
科目名	[経] 経済政策論 a	氏 名									

- (2) 財 3 が財 1 の代替財であるとき、財 3 の需要曲線はどのようにシフトし、消費点はどこに移るか、図を描いて示しなさい (6 点)。
- (3) この 3 つの財への支出額の変化を図中の面積で示しなさい。必要であれば図に記号を記入すること (1 行) (6 点)。
- (4) 財 1 の消費の変化にともなう消費者余剰の変化を図中の面積で示しなさい。必要であれば図に記号を記入すること (1 行) (6 点)。
- (5) 3 つの財の生産の限界費用はいずれも一定とするとき、この 3 つの財の生産費用の変化を図中の面積で示しなさい。必要であれば図に記号を記入すること (1 行) (6 点)。
- (6) (5) で求めた 3 つの財の生産費用の変化を合計するとゼロになるとする。このとき、社会厚生の変化を図中の面積で示しなさい。ただし、社会厚生は、(3) で求めた支出額の変化と、(4) で求めた消費者余剰の変化の和で表されるとする (10 点)。



持 込	持ち込み不可	試 験 時 間 60 分	答 案 別 紙 A4
			メ モ 用 紙 要